

コース20 すもんだけ 守門岳

リーダー CL NM SL H.T
 実施日 令和5年9月10日(日)
 天候 曇り
 グレード C上~D
 参加者 15人(男性5人 女性10人)



コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:00	集合
猿倉駐車場・二口登山口	8:00	8:30	登山開始
滝見台(中間点)	10:30	10:40	以降、大岳分岐まで急登が続く
大岳分岐	11:50	12:00	長い急登が終わる
青雲岳	12:20	12:30	霧のため景色見られず
袴岳(頂上) 1,537m	12:50	13:30	昼食。霧が濃い
青雲岳	13:50	13:55	霧のため景色見られず
滝見台(中間点)	14:45	14:55	滝が細い
甲子温泉登山口	14:35	14:50	
二口登山口	16:15	16:30	30分遅れで帰路につく
秋葉区役所前	18:30		予定より30分遅れで到着

山行等概要(幹事のコメント)

- ・蒸し暑さの中、山行開始。歩き始めるとすぐに汗が吹き出す。立ち休憩を多くとることとする。登山口から谷内平付近までは櫛が多く、春の新緑の時期は素晴らしい。登山道には茸が散見される。
- ・滝見台で、下山する人と頂上まで登る人とを分ける。夏の異常気象によるトレーニング不足を考えて、「無理させてはいけない人」と「無理のできる人」とを分けたかった。あくまでも決めるのは本人の意思である。



- ・9名で、本日の一番の難所に分け入った。風がなく、蒸し暑さに体力を奪われる。小まめに給水タイム(立ち休憩)をとる。既に全身汗でびしょりである。前ぶれもなく大岳分岐に出る。
- ・これで「急登」とお別れである。以降は青雲岳、袴岳へと足を向ける。霧が晴れず、周りの景色が見られない。残念であるが詮もなし。袴岳で昼食を摂る。赤トンボが、沢山飛んでいて何処にでも止まる。雨が降らないだけ有り難い。
- ・着ている衣類が乾く間もなく下山する。時間が押してきているため足を速めた。下りが苦手な参加者にはお詫びするが、なんとも頼もしい人達である。
- ・30分遅れで二口登山口に到着し、1時間遅れて秋葉区役所に着いた。今回は終始、蒸し暑さに体力を消耗し、とても疲れた山行であった。



守門岳紀行

1810 K.Y

守門岳はここに記すまでもないけれど、特徴的な山頂の稜線、冬期には雄大で美しく輝く雪庇を見せてくれる山で、私の好きな山の一つである。眺める度にいつもまた登りたいと思いつつ、最後に登ってから数年たってしまった。

今年も登山計画にあげて頂き、嬉しく参加を希望した。

さて、当日は台風13号の影響で天候が危ぶまれたが、空に雲はあるものの風もなく穏やかな朝を迎えバスは集合場所を出発した。

R290 栃尾「道の駅」に着く頃にはくっきりと青空が現れて猿倉駐車場に到着。すでに数台の車が止まっている、8時なので当然だ。登山靴に履き替える間、太陽の日差しが身にしみてくる。

8時20分密かに気合いを入れて登山開始。

守門岳二口登山口標識(520m)を過ぎ、はじめ少し急登でその後緩やかな坂、足元は落ち葉で柔らかく登り易い。時々太陽が照り付けて無風状態。すでに汗が頭から流れ落ちてくる。護人清水は予想どおり涸れており、登山道脇にぶら下げてある熊よけの鉄製鐘を鳴らして進む。

谷内平（891.6m）を過ぎるとしばらく立派なブナ林を登る。空は曇り始め、直射日光は届かずいい塩梅だが、とにかく 暑い!! 湿度高い!! キツイ!!

周りを見る余裕もないけれど前の皆さんを見るとサクサク登っている! 凄いなあ、遅れ気味になるがここで急ぐと後でバテルので、後ろの方には「ごめんなさい」と思いながら自分のペースで登る。(年々遅くなる🙄)

周りは低木になり、岩場が少しずつ多くなり痩せ尾根を経て、遂に中間点である滝見台に到着。ここで休憩タイム。滝は水が流れ落ちているかどうか私にはハッキリ見えず。

残念ながら雲が厚くなりはじめ遠くの景色は望めない。袴岳への稜線にも雲がかかっている。また気力を入れ直し出発。暫く登ると、登山道がV字に切れ込んだ粘土質の土の急登に行く。土は湿ってはいるが滑るほどでないのが有難い。もう少し、もう少しで分岐に出ると思いながら踏ん張る。やっと前方が明るくなり大岳分岐に到着（1432.4m）。

こんなに難儀かったかしらん? と以前の辛さはすっかり忘れていた。

袴岳への稜線も周りの山々も真っ白で何も見えない。それは残念だけれども太陽が照り付けていないし熱気がない程度に涼しいからラッキーと切り替えて青雲岳に到着。

もやっと霧に覆われた中、木道を進む。

山頂直下の急登を経て袴岳山頂に到着。みんなでハイタッチ!

たくさんのトンボが迎えてくれた。日曜日にもかかわらず誰もいない。そう言えばすれ違った登山者も少なかった。天気予報は午後おそくに傘マークがあったような。

周りの眺望は今まで同様に真っ白で何も見えず。こんな日もありますよね。

30分程のランチタイムの後、下山開始する。こんな急な坂を登ってきたのだと思いながらトントンと下る。

調子に乗ると、膝や足指が痛くなるとイヤなので少しセーブする。また後ろの方ごめんなさい。下りは周りの木々に目を向ける余裕があり、ブナ林がとても綺麗で深い山の空気を満喫した。まだ山肌は緑色だが、山道脇のオオカメノキは真っ赤な実をつけて色づいていた。下るほどに陽射しが顔を照らし天気も回復。変化に富んだ道を楽しみながら4時15分に登山口駐車場に到着。皆さんの顔がほころんでいる。全員無事に下山して本当に良かったです。暑い守門岳でした!!

登る前は、久しぶりの高い山で不安が無いわけではなかったが充実した楽しい一日を送る事ができました。

CL、SLはじめ参加された皆様にはお世話になり感謝申し上げます。

山行日 2023.9.10



[ブログ「青い空が好き」をクリックしてご覧ください。](#)